

(米沢地区) ふるさと納税について

意見要旨	説明・回答要旨
茅野市民が他の自治体にふるさと納税している額は把握しているか。	(財政課長) 茅野市民の他自治体へのふるさと納税額は、令和6年度決算で約1億3千万円となっているが、4分の3に相当する額は、国から地方交付税として戻って来るので、実際は1億3千万円の4分の1程度が、市から出てっている。

(米沢地区) 民生児童委員について

意見要旨	説明・回答要旨
11月に民生児童委員の改選があるが、市全体で20名ほど後任が決まっていなと聞いている。米沢地区に限れば、多くの皆さんの協力によって後任が決まっている。 私は、民生児童委員として活動する時に、何か問題や相談事があった場合、社会福祉協議会の地区担当に連絡すると、迅速に対応いただいている。 しっかりと顔を合わせてやり取りすることが大事だと感じた。	(市長) 貴重なご意見に感謝する。

(米沢地区) 路面電車について

意見要旨	説明・回答要旨
北大塩を通る通勤バスは、日々乗客数が増え、バスの中では立っている人もいます。 バス路線を路面電車に変えれば、座って通学、通勤ができて、観光客もわくわくするような体験をしてもらえるのではないかと。 また、この意見にとらわれず、子ども達や観光客がわくわくするような取組をしていただければと思う。	(市長) 通学通勤バスは多くの方にご利用いただいで感謝する。路線によって利用率にバラつきはあるが、米沢地区を通るバスは多くの方にご利用いただいている。 将来的には、水素で走るバスにしたいと思っている。まだ何も決まっていないが、TOYOTA GAZOO Racing Rally Challengeなどのイベントを契機に、トヨタ自動車の

	社長とお話をさせていただいた。 技術的には可能だが、水素の供給ステーションなど課題はいくつかある状況。 電車を通すことは難しいが、わくわくするような取組を今後心掛けていきたい。
--	---

(米沢地区) 観光について

意見要旨	説明・回答要旨
「mont-bell」は、主にアウトドア用品を扱う企業で、この間 50 周年を迎えた。茅野市は山の観光資源が多く、環八ヶ岳構想もあるので、今後こういった企業の重要度も増してくる。関係性はどうか。	(地域創生政策監) 茅野市と mont-bell は、フレンドシップ協定を結んでいて、50 周年式典にもご招待いただき、出席した。 会場では、お話にあった環八ヶ岳構想に関わる官民での連携について会長や幹部の方々と意見交換を行った。 その中で、八ヶ岳周辺に 70 店舗ほどある mont-bell の商品を扱うお店を対象として、訪れた方々に八ヶ岳のすばらしさを体験していただく際、商品を販売するだけでなく、インストラクターの派遣や DMO などが行っているアウトドアアクティビティと連携できないかと提案したところ、前向きな回答をいただいた。 今後実務的な話を環八ヶ岳連携市町村で進めていく。 (市長) 環八ヶ岳構想は、鳥獣対策や入山料の問題を統一的に取り組めることも大きな意味があると感じている。 観光振興については、来年度からいわゆる観光宿泊税が導入され、人口割合や観光客割合等で県や各市町村に按分される補助金の受け皿としての役割も期待できる。

入区について（米沢地区）

意見要旨	説明・回答要旨
入区の案内をしても、入区費や役をやりたくないという理由で断られることがとても多い。メリットを伝えようにも、若い人たちには魅力的ではなくなっている。 区についてのアンケートをとると、約８割の人は何か変えないといけないと思っているが、どう変えていいのかわからない状況。入区のメリットの具体例はあるか。	（市長） 現在、区長同士が意見交換できる機会を増やす調整を進めている。 メリットの一つとしては、災害時に助け合いができる事。具体的に高部区の土砂災害では、区民同士が助け合い、けが人や死者は出ていない。コミュニティがしっかりすることで、いざという時に大きな力を発揮する。そういったことを広めていきたいと思うが、これから茅野市に転入してくれる方々に届けるのは大変で試行錯誤している。 （副市長） 国内では世帯数が増えていて、核家族化が進んでいるため、地域とのつながりが無ければ、社会と全くつながりの無い世帯が増えていってしまう可能性がある。 社会との繋がりが無ければ生活していくとは困難となるので、そうならないように、丁寧に地域との関係を作っていくことをご案内していくことが大切だと思う。